

3年生 ラストスパート！ 全ては目標達成のために

3年生の皆さんは、昨年12月から入試の準備や対応で大変な毎日を過ごしてきたことと思います。

1月から、私立高校推薦入試・公立高校特色化選抜・私立高校一般入試・公立高校推薦入試等がありました。それぞれの結果は一人一人が真摯に受け止め、次の目標に向かって力強く前進してほしいと思います。

そのような中、いよいよ公立高校の一般入試が3月8日(火)・9日(水)に実施されます。この入試を最終目標に頑張っている皆さん、体調管理に留意しラストスパートで頑張ってください。

また、すでに進路が決定している皆さん、これまで自分を支えていただいた多くの方に感謝しながら、今、自分にできる最善の努力を形にしてほしいと思います。さらに、公立高校一般入試に向けて頑張っている仲間へ心温まるエールを送ってください

第74期卒業生 119名の皆さんへ

時が経つのは早いもので、皆さんが花尾中学校に入学してから3年間の過ぎようとしています。この3年間、皆さんの成長を支えていただいた家族や先生、そして、地域の皆様に「感謝」とともに、これからの人生に、今までいただいたアドバイスを活かして欲しいと思います。

卒業生の皆さん、中学校生活での全ての経験は皆さんの「宝物」であり、どれ一つとして無駄なものはありません。また、多くの経験を積むことで、人間は大きく成長できると思います。

ところで皆さんは、サッカーの三浦知良選手を知っていますか。先日、55歳の誕生日を迎え、まだまだ現役のプロ選手を続けていく意欲を示していました。

実は、三浦選手は、中学校3年生の時の進路希望調査に「第一希望 ブラジル」と書いて、担任の先生に大変しかられたそうです。しかし、三浦選手はブラジルでプロサッカー選手になるために、15歳で高校を中退しブラジルに単身で渡航しました。もちろん、自分で決断したそうです。ただ、当時の三浦選手は身長が低く、テクニックは持っていたものの、他に一流と呼べるような強みはなく、指導者達はブラジルでプロのサッカー選手になりたいという夢は、実現不可能だと考えていたそうです。しかし、この後の三浦選手の活躍は、皆さんが知っているとおりです。サッカーの世界では、50歳を過ぎて現役のプロ選手というのは奇跡に近いと言われています。三浦選手は、先日のインタビューで「60歳まで現役を続けたい」と答えていましたが、本当に素晴らしいことだと思います。

皆さんは、今回の入試で、志願先を決めてから現在に至るまで、自分の「限界」に挑戦する意気込みで、全力で努力を続けてきたと思います。しかし、この「限界」は、いったい誰が決めるのでしょうか。

三浦選手をはじめ、ベテランアスリートの多くは、「他人から、『君には無理だ』、『もうそろそろ限界ではないか』などと言われれば言われるほど、『いや、自分の限界は自分で見極める。自分の限界が見えたその時、自分で現役引退を決める。』」と考え、今でも努力を続けているそうです。

卒業生の皆さん、今後の人生の中で、いくつかの困難に直面することがあると思いますが、「自分の限界」を超えるためにも、苦しい時こそ自分を信じて、あきらめずにチャレンジを続ける大人になってほしいと願っています。

1, 2年生の皆さんへ

コロナ第6波の影響で、3学期に予定していた行事が中止や延期となってしまいました。しかし、その中で学校行事や部活動等で貴重な経験を積み重ねてきたと思います。そして皆さん一人一人が「自分は大きく成長した」という手ごたえを感じているはずです。おそらく、ご家族の方も同じ思いなのではないでしょうか。

さて、3学期は1年間の総まとめの時期であり、残り3週間となりました。皆さん、今まで頑張ってきたことを信じて、4月からの新しいスタートの準備をしてください。進級後も力強く前進していくことを期待しています。